

八本松自治協 設立以来の事業を総括

次期行動計画の柱

重点は防災・福祉・環境対策

自治協ニュース

第3001号
発行者
八本松住民自治協議会
H30. 5. 20

自主防災は高い評価 対応遅れる福祉・環境部門



熱心な質問に応答する土久岡会長 (中央左から3人目)

4月22日住民自治協議会では、八本松地域センタ
スにおいて構成員73名の参加により住民自治
協議会総会を開き、過去の5年間を総括し今後
の方向性を示した。

八本松まちづくり計画 各テーマの総括

テーマ(部会等)	期間	主な実績	数量
防災対策 (自主防災会)	H26-29	全地区に自主防災会設置	11会
		防災マップ作成・全戸配布	5,250部
		多い防災活動参加者	4,901人
やすらぎ・いや しの環境整備 (本部)	H27-29	地域センター等公園整備	2カ所
		ウォーキングコース紹介	6,000部
		ウォーキングイベント	2回
地域福祉対策 (福祉委員会)	H29	福祉対策委員会設置	27名
		福祉基本計画作成	10地区
自治会の確立 (自治会部会)	H25-29	行政当局との意見交換会	2回
		生活環境整備	日常
		自主防災組織化支援	全地域
		地域連帯感醸成	日常
地域文化振興 (文化部会)	H25-29	住民参加型文化祭(参加者)	4,350人
		伝統文化継承(とんど参加者)	2,100人
体育振興 (体育新興部会)	H25-29	市民スポーツ大会連覇	H25,H26
		みんなの運動会・ふれあいの場	1,641人
		グラウンドゴルフファミリー大会	370人
防犯対策 (防犯部会)	H25-29	地道な見守り活動・犯罪抑止	日常
		子ども危機回避能力向上研修	7回
		防犯意識向上・子供安全の日	5回
青少年健全育成 (青少年育成部会)	H25-29	週五日制・PTC 参加者	1,721人
		ゆーすふるサタデーナイト	1,976人
広報活動 (広報部)	H26-29	自治協ニュース発行	23,079部
		防災マップ作成支援	5,250部
		啓発・広報資料作成	610部

当協議会は、平成25年度に従来の「八本松小学校区まちづくり協議会」をベースに設立されたもの。設立時に策定された第1期行動計画(平成29年度目標)が昨

年度終了したため、過去5か年間の成果がテーマ別に発表され審議を受けた。それによると、区長制度から自治会制度へのシフトを推進する自治会部会では、新制度で最も重要となる行政担当とのパートナーシップ改善のため、意見交換会等による相互理解に尽力したこと。従来の「まちづくり協議会」から継続されたテーマを持つ文化、青少年育成、体育振興、防犯の各部会からは住民ファーストとな



来賓挨拶で当協議会の活動に敬意を表する高垣市長

また、新たな取り組みについて、自主防災対策では、全地域での組織の立ち上げや防災活動はめざましいものがあつたと報告。来賓として出席された高垣新市長も「この取り組み

は東広島市内でも先進的な取り組み」と高く評価した。また、広報部は自治協や当地域の住民活動を「自治協ニュース」等に掲載し、地域内外に広く情報発信したと報告された。しかし、住民生活に直結する福祉や環境等の活動は緒に付いたばかりで、今後地域の方々の協力的な対応が必要なのが課題としてあげられた。

このため、継続テーマの更なる見直しと、生活に直結する新たなテーマ(環境、福祉、防災)の整備と強化について、住民の皆さんの意見を基に5年先を見据え、第2期行動計画を策定し行動することを本年度の重点活動とする方針が示された。各提案について、熱心な質疑応答の末、全議案が承認された。また、一部役員選出では防災委員会の委員長に牧野美三夫氏、福祉対策委員会の委員長に信国武登氏が就任することとなった。

るよう活動を見直しそれぞれ一定の成果が認められたことが報告された。

また、新たな取り組みについて、自主防災対策では、全地域での組織の立ち上げや防災活動はめざましいものがあつたと報告。来賓として出席された高垣新市長も「この取り組み

は東広島市内でも先進的な取り組み」と高く評価した。また、広報部は自治協や当地域の住民活動を「自治協ニュース」等に掲載し、地域内外に広く情報発信したと報告された。

しかし、住民生活に直結する福祉や環境等の活動は緒に付いたばかりで、今後地域の方々の協力的な対応が必要なのが課題としてあげられた。

八本松自治協
防災委員会

更なる防災のレベルアップを 防災補助事業の有効利用で

八本松住民自治協防災委員会は、5月13日八本松地域センターで16名の委員と災害対策本部員及び市担当課職員による平成30年度最初の委員会を開催した。



挨拶する防災委員会の牧野委員長(中央)

最初に、今年度委員長に就任した牧野委員長は、「八本松の防災活動は市内でも進んでいると言われているが、これにおおむねことなく防災のレベルアップと住民の皆さんの防災意識向上にチャレンジしていきたい」と抱負を述べた。各委員からも本年度の地域の防災活動計画や防災支援計画が報告された。

また、今年度新設された東広島市単独事業の「防災訓練等推進事業」や補助金助成が決定した「平成30年度コミュニティ助成事業(防災用発電機購入予定)」が紹介され、既存の自治協単独の防災事業等を合わせ、充実した取り組みが行われるよう協議が行われた。最後に、昨年度末土砂災害警戒区域が告示され、その結果が災害対策本部から報告された。それに

よると全箇所数は41カ所であるうち6カ所が土石流、35カ所が崖崩れの警戒区域に指定。特に崖崩れのうち32カ所は建物等構造物への被害が想定される特別警戒区域を含む。更にそのうちの約15カ所は建物等の構造物が認められていると報告。今回の情報は、実際の現地測量の結果に基づくもので、推定災害規模のデータも付けられイメージし易くなっている。各防災会で情報を確認し、必要があれば災害担当行政部に現地説明を要請し、今後の防災対策に活かすこととなった。

土砂災害警戒区域指定

約15区域に建物等の被害想定

地区	がけ崩れ		土石流		指定前	
	警戒区域		警戒区域	特別警戒区域		
	特別警戒区域	建築物有				
宗吉	11	10	1	6	6	2
大山	1	1				
松風	1	1				
北	2	2	2			
中央	7	7	6			
みなみ	(2)1	(2)1	(2)			
南4・5						
日興	4	4	2			
トーピア	(1)1	(1)				
東	7	6	4			
計	35	32	15	6	6	2

注: ()の数字は他地区の区域に含まれているもの
指定前は今後の調査結果により示されるもの

地域トピックス

福祉課題解決のため何をすべきか 八本松南福祉会 今年度の活動方針を協議

八本松南地区福祉会は、5月13日八本松南集会所で30名の推進員の参加を得て、「ご近所ホット推進員連絡会」を実施。



ワークショップで検討結果を発表する推進員

八本松南福祉会は、1ご近所への積極的な挨拶、2普段の様子での見守り、3平素の会話で困りごと等の聴き取り、4聞き取った情報のネットワークによる解決、5若い推進員の増員等の5項目。藤原会長は、「人と人との繋がりを大切に、互助の精神で実践しよう」と述べた。

部会報告

第1回 夜の見回り活動 登下校時永年見守り表彰

4月7日防犯部会は17名の参加者が5台の青パトに分乗し、「夜の見回り活動」を実施。気温3度と真冬なみ。単独で出歩く子どもたちの姿は見受けられず、各パトロール隊員からの報告も異常なし。

次の活動は6月2日。また、4月22日には自治協総会の場で「地域の子どもたちの安全のため永年にわたり見守りをしていただいた」下組長寿会さまのご功績に對し感謝状を贈った。



謝辞を述べる下組長寿会の小倉副会長(左)